

町有地の貸し付けは

使用目的により決定

問 現在民間に貸し付けしている町有地は何力所あり、それぞれ何年契約で貸しているのか。事業者別に面積、単価、金額など詳しく説明せよ。

佐藤町長 28年度における有償貸付の主なものとして、福祉関係では、施設用地として1件、貸付面積1万6800平方メートル、坪当たり年額691円、貸付金額352万円で、貸付期間は50年間、商業関係では、店

舗および駐車場用地として3件、貸付面積1万120平方メートル、坪当たり年額1428円から2009円、貸付金額328万円で、貸付期間は50年間、建設・製造業関係では、従業員宿舍及び工場用地として3件、貸付面積1万1711平方メートル、坪当たり年額330円から500円、貸付金額142万円で、契約期間は1年間から20年間で貸し付けている。

30年度の当初予算は

引き続き大型予算となる見込み

問 29年度の予算は359億5千万円。自主財源は、218億5千万円で全体の60・8%。そのうち基金繰入金は、197億1千万円で構成比は54・8%。28年度より37億8千万円減である。30年度はどのように考えているか説明せよ。

町長 震災以降、復興事

業を中心とした大規模な予算が続いており、財源としては、国からの復興交付金管理運営基金からの繰入金が多額となっている。復興事業の進捗に伴い、予算規模は徐々に縮小するものと考えているが、30年度も引き続き大型の予算になるもの見込みである。

要支援者のサービスは

支援体制の構築に努める

問 ことし4月に介護保険から市区町村事業に移行した軽度の要介護についてどのように考えているか。

町長 介護保険制度の改正に伴い、ことしの4月から「介護予防・日常生活支援総合事業」を実施

しており、軽度の要支援者は、従来と同様のサービスを利用できる。この事業は、65歳以上のすべての方の介護予防と日常生活の自立を支援することを目的として、今後、支援体制の構築に努めていく。



阿部 幸一 議員
(新 生 会)



「シルバーリハビリ体操」で介護予防・日常生活支援